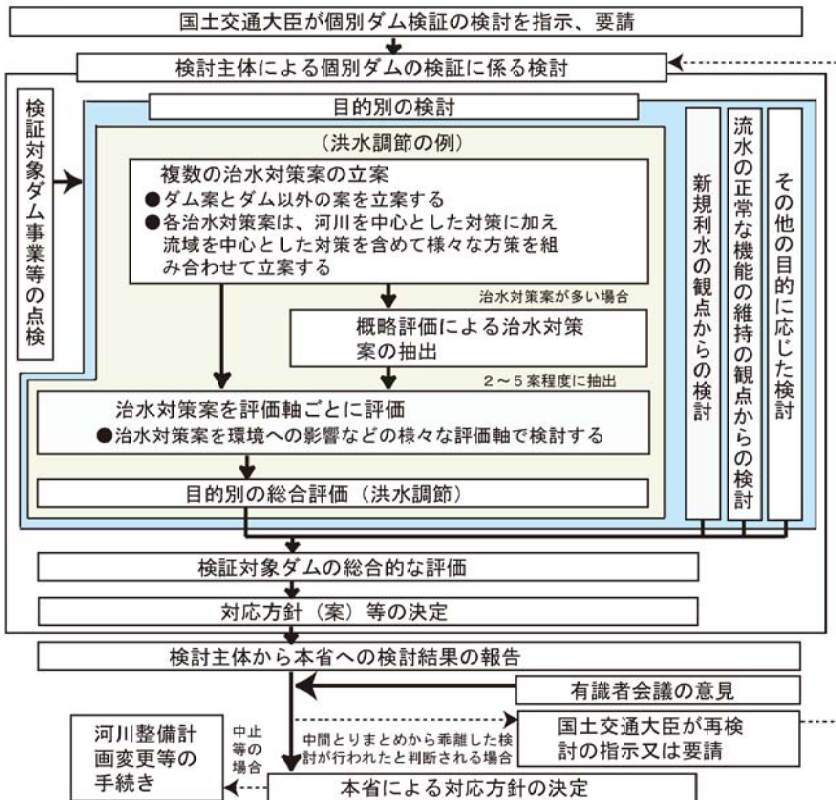


今後の治水対策のあり方に関する有識者会議

「できるだけダムにたよらない治水」への政策転換を進めるとの考えに基づき、今後の治水対策について検討を行う際に必要となる、幅広い治水対策案の立案手法、新たな評価軸及び総合的な評価の考え方を検討するとともに、さらにこれらを踏まえて今後の治水理念を構築し、提言することを目的に開催されています。

平成22年9月までに12回開催され、9月27日に「中間とりまとめ」が公表されました。同月28日には国土交通大臣から個別ダム検証に係る検討を指示されたため、新丸山ダムも個別ダム検証に向けて業務を進めることとなります。



【検証の進め方のポイント】
検討主体は、次のような進め方で検討を行う。

- 関係地方公共団体からなる検討の場の設置
- 情報公開、パブリックコメントの実施
- 学識経験を有する者、関係住民、関係地方公共団体の長、関係利水者からの意見聴取

検討主体は、事業評価監視委員会の意見を聴き、対応方針(案)を決定する。



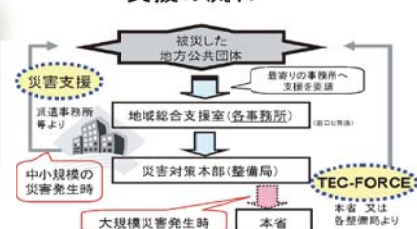
中部地方整備局の「資機材管理センター(中部技術事務所)」に揃う災害対策車両

国土交通省の地方公共団体への災害支援について

被災した地方公共団体に対して、国土交通省の「資機材・マンパワー・ノウハウ等」を活用した応援・支援に取り組んでいます。

- ・排水ポンプ車、照明車等の派遣。
- ・地すべり調査、応急復旧工法等の技術指導

支援の流れ



テックフォースの支援体制

●先遣班

応援・支援の必要性や規模を把握



●現地支援班

災害情報、応急対策活動状況等の情報収集、被災地支援ニーズの把握等



●情報通信班

被災状況の映像配信



●応急対策班

ポンプ排水、応急組立橋による応急復旧、照明車による夜間作業支援



●被災状況調査班



〔災害対策用ヘリコプターグループ〕

●高度技術指導班

河川、道路、港湾等の所管施設について、特異な被災事例等に対する技術指導、被災施設等の応急措置及び復旧方針の樹立の指導



リニューアルした新丸山ダム工事事務所ホームページで9/1より公開中

【洪水リスクを考える】

http://www.cbr.mlit.go.jp/shimaru/102_kuuzii/presen.html

<http://www.cbr.mlit.go.jp/shimaru/index.html>

木曽川の洪水リスクについて考えてみませんか

【水の流れて見る洪水と対策のしくみ】

http://www.cbr.mlit.go.jp/shimaru/103_mizononagare/main.html

